

その後一年過ぎた許の時に失望して船中を歩かれる時によりくさる位弱られて居つた。身の毛のよだつ様な掠奪談をホーイ夫人から聞かされてゐる内に、銅羅が鳴り、船の出帆を知らせてきたので別かれ様とした時、ホーイ先生が泣き乍ら立たれて「予は支那を愛す支那を愛す」と言はれた。その時に「僕は先生が日本と支那に...

いに由るのでない。人格教育だ。新島先生の學ばれた米國アマスト大學が近代教育の岐路に立つて時代に副ふ設備をして學生を増加するか、それとも人格教育の傳統を保持すべきやとの大きい問題を提げて、大學理事者は全國に檄を飛ばして同窓生の意見を聞いた。幾千の人々が集まり決議した事は...

吾等はいかゞ見度くない。今日の官學をナタ切して、立体的な學院精神と教育の第一義を叫び度い。(完)
中學部近事 五十歳
十月九日。青葉神社例祭につき朝禮後清水教師の伊達政宗公に關する講演あり、終て自由参拜とした。

等賞を得た。全十九日。校醫として多年盡瘁された山本有成氏は、驟て病氣の處癯石効なく本日永眠された。
全二十一日。五十嵐部長兼主催中等學校長會議へ出席。
全二十二日。シユネーグー院長校用を帯び上京二十五日歸院。

原正男君と齋藤靜君 鈴木市治郎
新年早々二人の有名な同窓生を紹介する事が出来るのは頗る痛快だ。一人は精神科學の建設に携はれた原正男君で、今一人は實際言語學會から招かれた齋藤靜君だ。併し之を紹介するに敢て、筆者の蛇足を添へる必要がない。夫々地元發行の新聞紙が詳細に報導してゐるので、ただそれを借用して要點を採録すれば充分である。

創立者押川先生 墓前祈禱會

日御永眠兼て我々労働會員は先生の遺恩を感銘し、忌の當日に北山の御墓前にて其の感思祈禱

にて催さんとす。在會員は勿論の集會委員に御任せあらんことを乞ふ。但し可成多數の感話及祈禱を乞ふよ。(略)

昭和五年度會計報告は紙面の都合により次號に廻はしました。